

上段の歌詞は原典の書き方のままです。正誤の表示はしません。（平仮名だけの歌詞が多いため、漢字を混ぜた表記は、例えば83頁の参考文献の（）にあります。）

下段の歌詞は、上段の歌詞を、原典の十一四の中の片仮名を標音とみなして、原則としてそれに従つて現代仮名遣いで書いたものです。上段と下段の読み方は同じです。

ほとんどの歌詞には後註（70～73頁）があります。

沖縄文字等の一覧は82頁にあります。

沖縄語には口語と文語があります。琉歌は沖縄語の詩で、文語です。文語には普通の話し言葉に向かない言葉や言い回しがあります。また歌詞は韻律などの関係で、語に沿つて音の伸縮があり、伸縮の通りに書かれ朗読されます。節をつけて歌うときは、音は更に伸びる傾向です。話し言葉の学習者は、これらの点に留意して本書を利用して下さい。

音の破裂・不破裂の別は、沖縄語では重要です。破裂音とは、一回声門を開き、これを破裂的に開いて出す音のことです。書によつて声門破裂音、声門閉鎖音、喉頭破裂音などとも呼ばれます。破裂音か否かの区別は単語の語頭だけにあり、文字も区別します。語頭以外では文字の区別はせず、通常文字を使います。例、「犬」は「いん」、「縁」は「いん」、「鳥」は「トリ」。「トリ」の「トリ」は語頭ではないので通常の「い」で構いません。